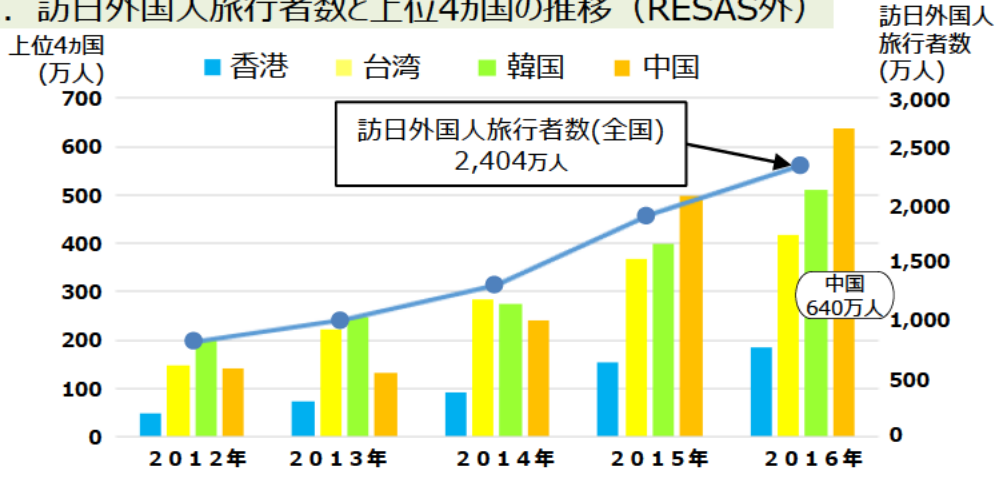


RESASかんたん分析 第9回「インバウンドが急成長！“東北のインバウンド傾向は!?”」

2016年の訪日外国人旅行者数は2,404万人、その消費額は自動車部品の輸出額を上回る3.7兆円とそれぞれ過去最高を記録しました。東北地域には、どの国から、いつ、何を目的に来訪している外国人が多いのでしょうか？今回は、東北のインバウンド傾向を探っていきます！

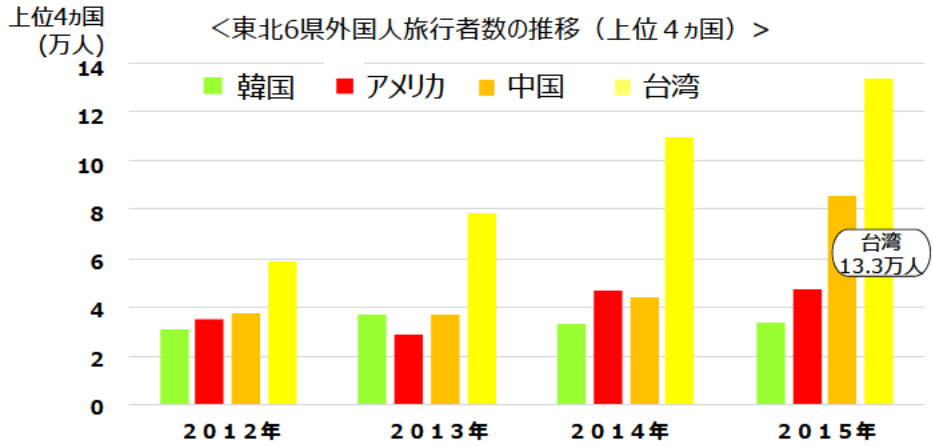
1. 訪日外国人旅行者数と上位4か国の推移 (RESAS外)



◆ 日本全体では、中国からの訪日者数が多く、2016年には約640万人となっている。
出典：日本政府観光局(JNTO)

2. 外国人訪問分析

観光マップの「外国人訪問分析」では、国籍別・目的別に外国人旅行者数を、都道府県単位で把握できます。

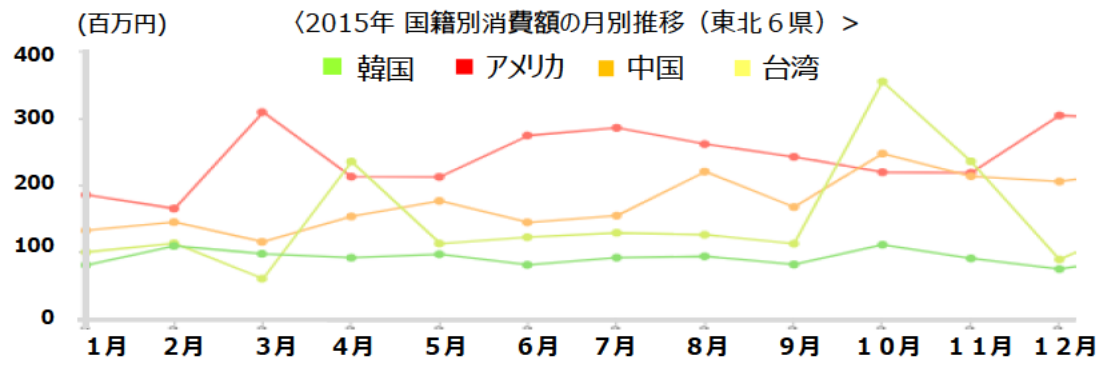


◆ 東北6県では、台湾からの旅行者数が多く、2015年には約13.3万人となっている。

<執筆者からのコメント：佐々木>
東北地域の豊かな「自然」、祭りや伝統工芸などの「文化」、郷土料理や酒などの「食」といった観光資源を発掘し、魅力を向上させ、世界に発信し、東北の観光振興に繋がってほしいですね。
皆さんもRESASを活用し、地域のインバウンド動向の把握からはじめてみてはいかがでしょうか？

3. 外国人消費の比較 (クレジットカード)

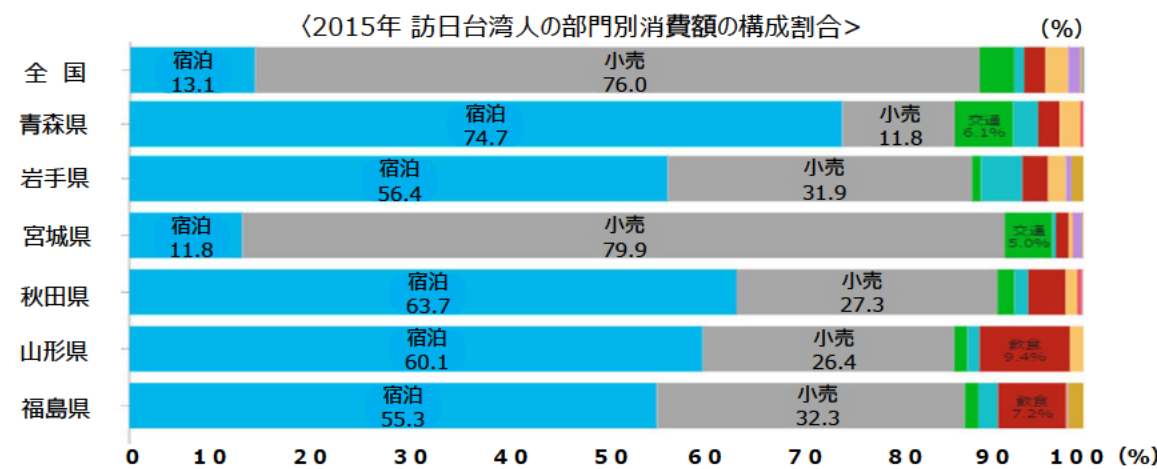
観光マップの「外国人消費の比較(クレジットカード)」では、クレジットカードのデータを基に、外国人旅行者(地域別・国籍別)の部門別消費額、取引件数を把握できます。



◆ 国籍により消費のピーク時期に違いが見られる。台湾は春、秋の時期に消費額が高くなっている。

4. 外国人消費の構造 (クレジットカード)

さらに、「外国人消費の構造(クレジットカード)」では、外国人旅行者(地域別・国籍別)の部門別消費額の構成割合を把握できます。



◆ 全国や宮城県では「小売」の割合が高く、その他の東北地域は「宿泊」が高くなっている。東北地域の製品を使ったお土産の購入など「小売」の消費額を増加させることで、地域経済への波及効果が期待できる。

次のページは...
台湾人の消費傾向は!?

■東北地域では訪日台湾人が増加傾向であることが分析できました。
 今回のおまけでは、訪日台湾人に着目していろいろな角度から分析してみたいと思います。

2016年 訪日台湾人の消費動向

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

一人あたりの旅行支出額

国籍	一人あたりの旅行支出額
中国	231,504円/人
アメリカ	171,418円/人
韓国	170,281円/人
台湾	125,854円/人

(一人あたりの旅行支出額 = 国籍別旅行消費額合計 ÷ 国籍別訪日外国人者数で算出)

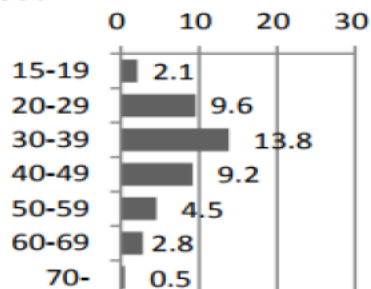
訪日台湾人の一人あたりの旅行支出額は少ないことがわかります。

客層

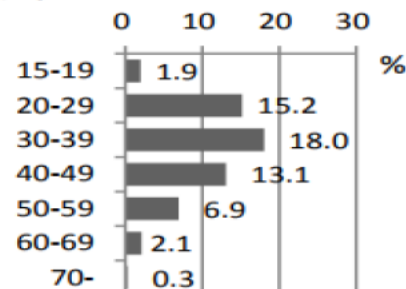
0% 50% 100%



◆男性

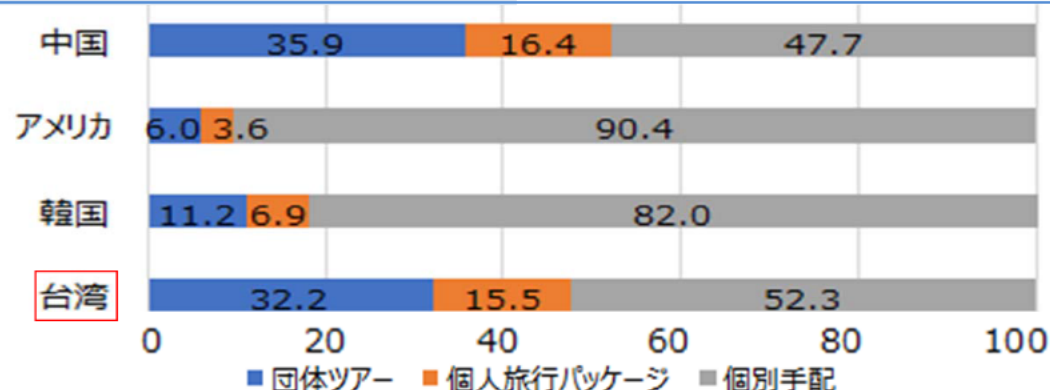


◆女性



女性の占める割合がやや高く、男女共に30代が多くなっています。

旅行形態



訪日台湾人の約半分が「個人手配」で旅行をしていますが、アメリカや韓国と比較して「団体ツアー」の比率が高くなっています。

買い物ランキング

◆購入品目◆				◆買物場所◆		
順位	購入品目	購入率(%)	購入単価(円)	順位	買物場所	回答率(%)
1位	医薬品・健康グッズ・トイレタリー	72.8	15,746	1位	ドラッグストア	86.8
2位	菓子類	67.2	8,346	2位	コンビニエンスストア	72.4
3位	その他食料品・飲料・酒・たばこ	64.4	8,900	3位	空港の免税店	68.8

「医薬品・健康グッズ・トイレタリー」の購入率が高く、買い物場所は「ドラッグストア」や「コンビニエンスストア」の割合が高くなっています。